

# 運動会 6年生



## 本気！ともに行こう！前へ！！

組体操のフィナーレで先生が笛を吹いた瞬間、360度から大きな拍手の音がして、成功したと思いました。3人タワーで持ち上げる時、友達が「がんばれ。」と言ってくれて力がわき、元気が出ました。土台の時も「だいしょうぶか。」と声をかけられ、うれしかったです。

特に難しかったのは3人技の飛行機です。バランスをとりながら上がることと、頭から足まで一直線にして足を閉じることの苦労しました。本番では1年生が「すごい。」「どうやったらできるのかな。」と言っていてとてもうれしかったです。飛行機も成功してうれしかったです。

何より練習で力を入れたのが、組体操です。家の人たちにも「組体操、期待してるで。」と言われました。最後のタワーは、みんなと息を合わせないといけないので苦労しました。本番ではいつもとちがう力が出ました。ペアの人ともより仲良くなれたことがうれしかったです。家の人にも「感動したで」とほめられました。

運動会当日、6年生の組体操をする時がきました。10人技の2.5段タワーをするフィナーレ。私は、みんなに感謝しながら、みんなを信じて乗りました。ついに、ついに完成です。練習で成功した時もうれしかったですが、大勢の人達の前で成功すると、練習の時よりうれしかったです。

運動会本番、組体操の始まる前まで、すごく緊張していました。でも円陣を組んだ時、いろんな人が応援してくれていたことを思い出して、どんどんやる気が出てきました。一番不安だったピラミッドも成功させて、フィナーレも無事みんなで成功させたのですごくうれしかったです。

3段タワーは今までやってきた技の中で、一番難しく、みんなと心をつなげないと成功しません。フィナーレは、すごく緊張しました。みんなでかけ声を「せーの。」とかけ、タワーが完成しました。「いままで練習してきたよかった。」と思いました。小学校生活最後の運動会は、最高の運動会になりました。

一番がんばったのは、3段タワーです。ぼくは、一番下の土台でした。最初は、全くみんなの息が合ってなくて全然立ち上がりませんでした。朝練や休み時間も使って練習しました。タワーを作ることができ、みんなで一生けん命すると絶対できると感じたし、チームワークもよくなったなと思いました。

サボテンの技をしているときは、「絶対にぐらぐらせずに2人の気を合わせてがんばるぞ」という気持ちでした。ピタッとしたのができたのは、同じ気持ちになって支えてくれたペアの友達のおかげだと分かりました。友達の毎日のがんばりや大切さを感じました。

練習のときに校長先生に言われたこと。「土台の人は、上に人の命を乗せている。その命を落とすな。受けてやれ。」その言葉に心を打たれた。だから、土台の役が多かった私はこの言葉をしっかり心の中に入れて演技をした。一番苦手だったのは倒立だった。何回も練習をし、友達にも補助をしてもらった。当日は1回で足が上がった。うれしかった。友達のおかげだと思った。

6年生への憧れの一番は組体操です。5年間、ずっと「すごいなあ。カッコいいなあ。」と思い続けていました。はじめは自分がやるということが信じられませんでした。練習していくにつれて私はもう6年生なんだと実感をもてるようになりました。フィナーレでは練習で何度も落ちて怖かったけど、全員が団結してタワーを上げることができました。私は組体操で力を合わせるすごさを感じることができました。

一番大変でつらかったのは、やっぱり組体操。今までの運動会の中で、一番友達と助け合い、協力し合うことができた。土台をした技もある。いつも下で支えてくれる友達が、どれだけ大変で、つらくて痛いのが分かった。私の上に乗る友達がしっかりとふんばっているのを感じると、一つの技が成功したんだなとうれしくなった。

V字バランスのテストでは、何回も失敗し、なかなか合格できませんでした。3人技も失敗を繰り返しました。でも、友達が「絶対に成功させよう。」と言ってきてから、みんなの気持ちがひとつになり、やっと成功しました。組体操は一人ではできません。みんなが協力するからこそ、見ている人が感動する技ができるのだと思いました。

なかよし学級の友達にみんなで声をかけたらすぐに動いてくれて、組体操もみんなの中で上手にできてうれしくなりました。みんなの助けがあれば、友達は何でもできるということを、改めて感じました。何回も練習をするうちに、みんなの心がひとつになってきて、失敗も少なくなってきました。組体操は、私にはあっという間に感じたけれど、その間に色んなことを学びました。

組体操の練習のとき、友達が、先生に言われる前に補助についてくれたり、失敗したときに「次いけるよ。」「ドンマイ、大丈夫。」と声をかけてくれたりしてとてもうれしかったです。この運動会を終えて、改めて本当の友達がいる心強さとうれしさを感じることができました。ぼくの中の本当の友達は、けんかをする人はあっても、協力と応援をしてくれる人です。本当の友達を見つけられたように、自分自身が誰かの本当の友達になれるようがんばりたいです。

一番しんどかったのは、二人技でした。倒立はずっとできなくてあきらめかけていました。でも、「まだやろう。あきらめなくてやろ、もう1回。」と、友達が言って励ましてくれました。それから、運動場での練習の時に「やるぞ」と思ったら、本当にできました。アドバイスをくれたり支えてくれたり、全部友達がいるからこそできたことだと思いました。

